

Challenge to the Future

社会とともに発展し、高い信頼を寄せられる
魅力ある企業であり続けることを目指す

経営理念

自由闊達
技術のたゆまざる研鑽
製品の高度化
社会への貢献

経営ビジョン

高付加価値製品による感動
(満足できる性能、コスト、品質)
を通じて、世界で信頼される
企業グループを目指す。

価値創造の源泉

感動を創造する微細加工技術

東京応化は、ナノメートル*領域での微細化と応用技術の展開、
技術マーケティングと新しい視点からの高付加価値技術開発により、
半導体製造をはじめとする、幅広い分野で価値を提供しています。

* 1ナノメートル(1nm)=100万分の1ミリメートル。髪の毛の太さの約10万分の1

The Cutting Edge

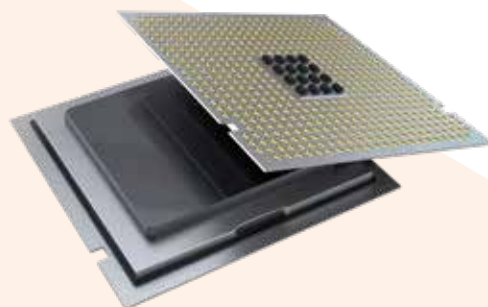
最先端半導体材料

気候変動問題の深刻化や新たな感染症の流行など、地球上に次々と現れるリスクと社会的課題の解決に、半導体をはじめとする先端テクノロジーは大きな役割を果たしています。

東京応化は、高度な社会的・科学的課題の解決に貢献する最先端半導体向けの高付加価値材料を開発することで、社会との共有価値を創造しています。



東京応化のフォトレジストや高純度化学薬品



最先端半導体

東京応化の半導体向け材料事業

経済的価値

あらゆる産業の進化と
技術イノベーションに貢献

社会的価値

高度な社会的・科学的課題の解決を加速
環境社会の創出に貢献

社会との共有価値を創造

3 すべての人に
健康と福祉を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



Our History

最先端を追求し続けてきた80年

各時代の社会的課題に対し、最先端のファインケミカルで解決に貢献するビジネスモデルは、創業者・向井繁正の時代から受け継がれてきた当社の揺るぎないDNAです。



東京応化はこれからも、「社会の期待」に化学で応える
研究開発型企業として、最先端の価値創造に邁進します。

2020



設立80周年

今後も最先端分野での
価値創造を進化させ、
「100年企業」の実現を
目指します。

2019

社会の期待



Innovation

1997

社会の期待

ICT



tok's Output:

KrF用フォトレジスト
→ULSI*の普及

Outcome:

インターネット&モバイル社会の創出

Philosophy:

技術のたゆまざる研鑽

* Ultra large scale integration: 1チップ当たりの半導体素子の集積度が1,000万個を超える集積回路



tok's Output:

EUV用フォトレジスト→5G & IoTイノベーション

Outcome:

5Gによる社会的課題の解決

Philosophy:

新技術にチャレンジし、技術を磨き、持続可能な地球のために、社会の期待に化学で応える



韓国・TOK先端材料社



相模事業所・新研究開発棟



相模事業所研究棟
電子顕微鏡室
(1997年頃)



同ステッパー室